

# 亀岡市千歳町 丹波七福神めぐり 約5km

## 日本一早周りの七福神

一番札所「神応寺」から七番札所「東光寺」までを約5kmという短い距離で参拝することができます。のどかな里山を吹きわたる風を感じ、静寂にさえざる鳥の声を聞きながら、気軽に歩いてみませんか？

### 第一番 神応寺 毘沙門天 ☎0771-22-1896

元はインドの神様で勝負事のご神様である毘沙門天は、禍を追い払い願いをかなえて下さいます。毘沙門さんの教えに従って精進する人には、無量の福德が招来します。



神応寺の本尊は釈迦如来座像で、境内には無数の石仏をお祀りした石仏庭園があります。

### 第二番 養仙寺 布袋尊 ☎0771-23-0506

布袋尊は七福神の中で唯一実在していた中国唐時代の高僧で契此（かいし）と呼ばれた人。福德円満なお姿で、ほほえみと幸福の大切さを教えて下さいます。



養仙寺の本尊は釈迦如来坐像で、国内外より集蔵された600余体の布袋像は日本一と言われています。

### 第三番 蔵宝寺 大黒天 ☎0771-23-1820

本来は真っ黒な体で忿怒の顔をしたインドの神様である大黒天は、七福神になられてからは優しい顔になられ、厨房と家計の神様になり日常生活に最も親しい福の神です。



蔵宝寺の本尊は観世音菩薩坐像で、薬師堂には薬師如来像が祀られています。

### 第四番 金光寺 弁財天 ☎0771-23-6513

七福神中唯一の女性で、元はインドの神様である弁財天は「財運招来」財を弁ずる神様で、音楽・芸・知恵の神様です。琵琶を手に持ち、豊満なお体で座られています。



金光寺の本尊は阿弥陀如来坐像です。

### 第五番 耕雲寺 恵比須天 ☎0771-22-2214

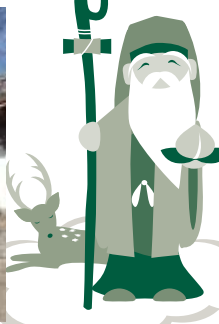
恵比須天は、昔から豊漁と航海安全の神とされてきましたが、今は「商売繁盛」、「五穀豊穡」をもたらし神様として親しまれています。天照大神と兄弟の神様です。



耕雲寺の本尊は聖観世音菩薩坐像で、春日局ゆかりのお寺です。ここから見る亀岡盆地はすばらしい眺めです。

### 第六番 極楽寺 寿老人 ☎0771-22-1103

中国道教の神様で南極星の化身。不老長寿の神様とされる寿老人は長い白い髭を垂れ福祿寿にとても似ています。長寿のシンボルの鹿をお供に従えています。



極楽寺の本尊は阿弥陀如来立像で、収蔵庫には、国重要文化財で平安時代末期作の十一面観音菩薩立像が祀られています。

### 第七番 東光寺 福祿寿 ☎0771-22-7719

中国道教の神で南極星の化身とされる福祿寿は、福は幸せ、禄は収入の増加、寿は長生きと人生円満、福德と長寿を授ける神様。短身、長頭で福々しくユニークなお姿です。



東光寺の本尊は釈迦如来坐像で、薬師堂には天台座主智証大師作とされる薬師如来立像が祀られています。

## 千歳町の歩き方

千歳町の南から出発する七福神のお参りコースに加えて、火伏せの神 愛宕神社、亀岡一の桜の名所であり清流七谷川に沿う和らぎの道、丹波一の宮 出雲大神宮、そしてあとほんの少し足を伸ばして丹波国分寺(跡)や千歳車塚古墳など、悠久のときの流れを今に伝える史跡、名所巡りも盛り込んでみてはいかがでしょうか。どの季節も自然が美しく楽しめますが、お正月に七福神めぐりをするると特にご利益が多いともいわれています。



## 国指定重要文化財（社殿、大国主命坐像） 出雲大神宮 ☎0771-24-7799



出雲大神宮は、千歳町出雲無番地に鎮座する丹波一の宮で、709年(和銅2年)の創建といわれています。背後にそびえる御陰山(みかげやま)を御神体山として、1445年に建立された三間社流造りの現社殿には大国主命(おおくにぬしのみこと)とお後の三穗津姫命(みほつひめのみこと)がお祀りされています。

## 千歳車塚古墳



千歳車塚古墳は、出雲大神宮の西方約600mの水田の中にあり、墳丘には樹木もなく、古墳が造られた当時の姿をしており、丹波に現存する最大の方後円墳です。

## 丹波国分寺(跡)



国分寺は、聖武天皇が五穀豊穡・国家鎮護のため、天平13年に詔を発して、国分尼寺とともに各国ごとに建立された寺です。丹波の国では、千歳町国分に国分僧寺が、またその西方450mの河原林町河原尻には、国分尼寺が建立されました。

## 国指定重要文化財（社殿） 愛宕神社 ☎0771-23-9341



愛宕神社は、石松山(通称牛松山)の麓の千歳町国分南山ノ口1番地に鎮座し、507年の創建といわれ、社殿には火産靈神(ほむすびのかみ)、伊弉那美神(いざなみのかみ)及び大国主神(おおくにぬしのかみ)をお祀りしています。一間社流造りの社殿は鎌倉時代に造られたもので、市内最古の木造建造物です。

## 八幡宮社



八幡宮社は、千歳町毘沙門平松47番地に鎮座し、社殿には応神天皇をお祀りしています。当社は、もともと神応寺の境内に祀られていましたが、明治初年の神仏分離により、現社地内に祀られていた毘沙門天像を神応寺に移す一方、当社が現社地に移されました。なお、現在の社殿は、明治44年に新築されたもので、本殿は一間社流造りです。